

## 工事の概要

今後の区域見直しに当たっては新たな評価指標Ldenに切り替わること、新たな工事対象となる住宅については、外郭防音工事で実施すること等を踏まえ、工事内容を見直す必要があるところ、以下のとおりとする。

### ■ 建 具・・・市販防音サッシを導入

| 区分   | 現工法 |                       | 区域見直し後の工法 |                       |
|------|-----|-----------------------|-----------|-----------------------|
| 居室   | Ⅰ工法 | Ⅰ工法サッシ・単板ガラス5mm       | ⅠⅠ工法      | 市販防音サッシ（T-2サッシ）・複層ガラス |
| 居室以外 |     | （一部施工）Ⅱ工法サッシ・単板ガラス5mm |           | 市販防音サッシ（T-1サッシ）・複層ガラス |
| 居室   | Ⅱ工法 | Ⅱ工法サッシ・単板ガラス5mm       | ⅠⅡ工法      | 市販防音サッシ（T-1サッシ）・複層ガラス |
| 居室以外 |     | 未施工                   |           | 市販防音サッシ（等級2）・複層ガラス    |

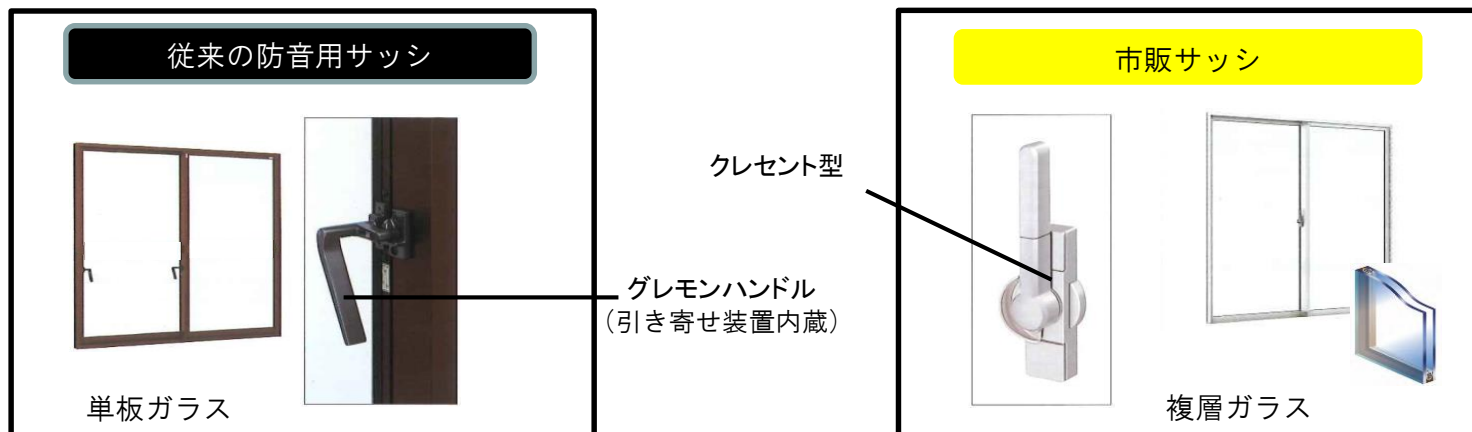
※複層ガラスについては、工法区分によりガラス及び空気層の厚さの構成が異なる。

### ■ 空調機器・・・居室、事務所・店舗部分に設置可能とし、台数の上限は従来のⅠ・Ⅱ工法と変わらず。

※工法区分や居室数等により上限数は異なる。また、既設の冷暖房機器が設置されている場合、現行基準のとおり補助対象外。

### ■ 壁・天井・・・居室部分：吸音材等の施工内容は、従来のⅠ工法、Ⅱ工法と変わらず。 居室以外：既存のまま。

### ■ 防音区画・・・事務所・店舗併用住宅においても、事務所・店舗部分と居室を行き来できる場合は、廊下など居室以外の部分（ユーティリティー）と違いはないため、防音区画に含める。



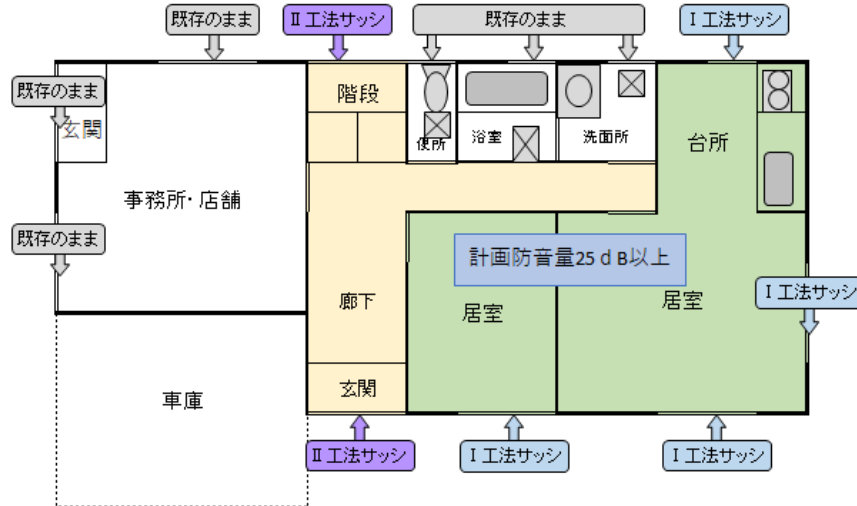
# 区域見直し後の住宅防音工事の内容

別紙 2 / 2

## 現工法

### ○第Ⅰ工法 (WECPNL80以上の区域)

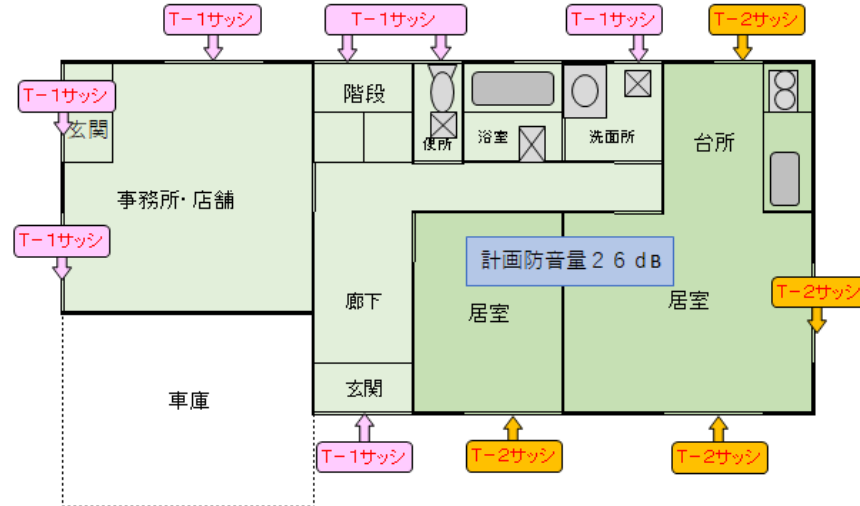
計画防音量 25 dB



## 区域見直し後の工法

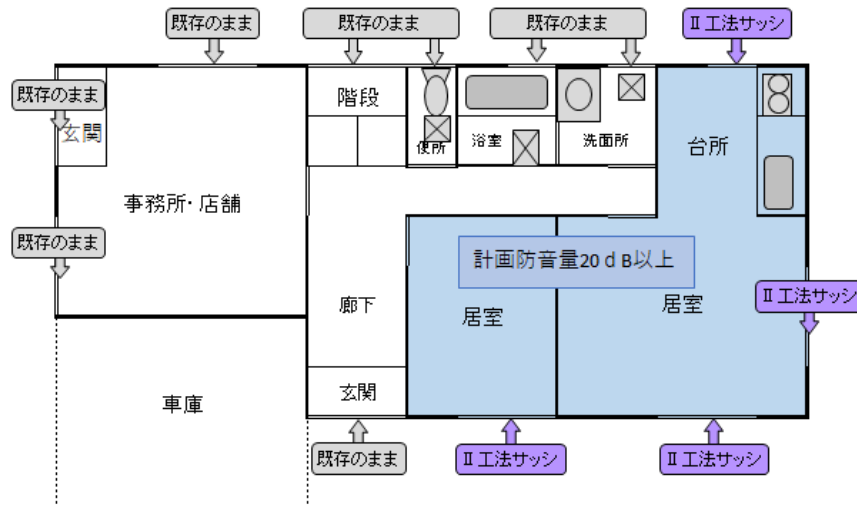
### ○ⅠⅠ工法 (Lden66dB以上の区域)

計画防音量 26 dB



### ○第Ⅱ工法 (WECPNL75以上～80W未満の区域)

計画防音量 20 dB



### ○ⅠⅡ工法 (Lden62dB以上～Lden66dB未満の区域)

計画防音量 19 dB

